

三条市子ども・若者総合サポートシステム
平成 22 年度活動実績・平成 23 年度活動計画
【若 者 支 援 部 会】

《平成 22 年度活動実績》

1 若者支援部会 対象者の把握状況と対応

(1) 把握件数（平成 23 年 5 月末現在）

区分	ひきこもり（若者）
人数（人）	3（1）

※（ ）については、他の区分を重複している件数

（再掲）「個人情報の取扱いに関する同意書」提出件数

※障がい・ひきこもり（若者）の区分について、本人または保護者より「個人情報の取扱いに関する同意書」を提出してもらうこととしている。

区分	ひきこもり（若者）
人数（人）	3

(2) 受理後の対応

ケース 1 親の都合のよい日に面談の上、意向を確認し、その後、関係者で対応を検討することとしている。

ケース 2 対象者及び親と面談した結果、就職の意向であったことから、三条地域サポートステーションに引継ぎ、現在は、職業訓練に通っている。職業訓練終了後、ケース検討会議を開催し対応を検討する。

ケース 3 個別ケース検討会議開催後、本人・家族との関係づくりを図るため保健師と家庭児童相談員が訪問。その後三条地域若者サポートステーションへ支援を引き継ぎ、現在自宅での身辺自立への促しや学習支援を継続中。

今後の支援について個別ケース検討会議開催し検討していくこととしている。

2 若者支援部会 会議開催状況

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等	参加 機関数
実務者会議 〔内閣府モデル事業 地方企画委員会〕	第 1 回	9月14日	燕 三 条 地場産業 振興センター	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の意識に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）について ・子ども・若者支援地域協議会運営方策検討会議報告書について ・総合サポートシステムについて ・本年度の事業計画について 	13機関
	第 2 回	2月15日	燕 三 条 地場産業 振興センター	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣府モデル事業の実施状況について ・事例報告 ・中央企画委員会の報告 	13機関
個別ケース 検討会議	1回	中学校時不登校だった引きこもりの状態にある子どもについて、関係者で今後の支援について検討を行った。			

3 周知活動

- ・中学校3年生の保護者に対し、総合サポートシステムについて周知

4 研修会・講演会

ユースアドバイザー養成講習会（内閣府モデル事業）

子ども・若者への支援が適切に行われるよう必要な知見を有する相談員等を養成するため実施するもの。

回	月日	場所	内 容	参加者
1	9月14日 (火)	燕三条地場産業 振興センター メッセピア 4階大会議室	1 若者の意識に関する調査（ひきこもに関する実態）について 2 子ども・若者支援地域協議会運営方策検討会議報告書について 3 総合サポートシステムについて	30人
2	10月14日 (木)	燕三条地場産業 振興センター メッセピア 5階総合研修室	4 不登校、高校中退について、若者のひきこもりについて 5 若者のメンタルヘルスについて	33人
3	10月14日 (木)	〃	6 アウトリーチについて 7 グループワーク実習	29人
4	11月18日 (月)	燕三条地場産業 振興センター リサーチコア 6階研修室	8 公的扶助、障がい者福祉の仕組みについて 9 ネットワークの構築と個人情報保護について 10 相談業務の要諦について	28人
5	11月18日 (月)	〃	11 若者の非行、犯罪について、少年司法の仕組みについて 12 薬物依存について	32人
6	12月16日 (木)	燕三条地場産業 振興センター メッセピア 4階大会議室	13 アセスメントと支援計画について 14 ケース検討会の在り方	33人
7	2月15日 (火)	〃	15 「動機付け面接」など効果的面接方法の実習 16 SST などグループワーク実習	33人
8	3月9日 (水)	〃	17 学校から職業生活への移行、雇用・就労をめぐる状況 18 労働環境について、就労支援について 19 まとめ	29人

5 成果・課題

活動の成果	活動から見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関で問題意識の共有化が図られた。 ・若者支援の重要性を認識するとともに関係者の意識向上につながった。 ・支援機関相互のつながりができたことにより、対象者を次のステップに「つなぐ」ことが比較的容易にできるようになった。 ・ユースアドバイザー講習会については、子ども・若者支援に係る基礎的知識を習得することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関によって、子ども・若者への関わり方が異なるので、実務者会議等を通じて、さらに問題意識の共有化を図っていく必要がある。 ・ユースアドバイザー養成講習会で習得した基礎的知識を実践に結びつけるよう、引続きスキルアップを図っていく必要がある。

《平成 23 年度活動計画》

1 会議開催予定

会議名	回	月	場 所	内 容 等	参加 予定数
実務者会議	1回	9月中旬	育成センター	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度の取組実績について ・平成23年度の取組予定について 	20人
個別ケース 検討会議		随時		<ul style="list-style-type: none"> ・ケースの状況の共有 ・今後の支援体制及び役割分担等 	

2 周知活動

- ・中学校3年生の保護者に対し、総合サポートシステムについて周知
- ・市内及び近接地の高等学校等の生徒及び保護者に対し、総合サポートシステムについて周知

3 研修会・講演会

ユースアドバイザー資質向上研修

子ども・若者支援に関わる相談員等の資質向上を図るため研修会を実施するもの

回	月	場 所	内 容 等	参加 予定数
1	9月	三条東公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉について ・不登校の現状について 	40人
2	10月	三条東公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の雇用、就労の現状について 	40人
3	11月	三条東公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の非行・犯罪の現状について 	40人
4	12月	三条東公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における若者支援体制の充実に向けて 	40人